

横浜市国民健康保険運営協議会 議事録要旨

日 時	令和5年3月28日（火）午後2時～午後4時
開催場所	横浜市庁舎 18階 なみき18・19会議室
出席者	委員 17名（傍聴者 0名）

議事1 令和5年度横浜市国民健康保険事業費会計予算について	
事務局	（資料に基づき説明） 令和5年度の歳入、1人あたり医療費、歳出について説明。
西村会長	繰入金について独自に繰り入れている分を減らしていくと思われるが、5年度の内訳と前年度比はどうか。また、基金の額はどうなっているか。
事務局	令和4年度は32.5億円を繰り入れており、令和5年度は4億円減らし、28.5億円。基金については、50億円確保している。
西村会長	令和4年度の10億円の積立金の支出はどういう状況か。
事務局	令和4年度は、当時保有していた繰越金額も勘案しながら10億円を基金に積んだ。
森川委員	1人当たりの医療費には本人負担分は含まれているか。1人当たりの保険料で年齢別に分析された資料はあるか。
事務局	1人あたり医療費には本人負担分は含まれている。1人あたり保険料は被保険者で割った数値となっている。
西村会長	長期的な傾向はそれほど変わりがない。医療費はコロナによる減少から回復してきたことになると思うが、特殊な事項があるようには見えない。
議事2 第2期データヘルス計画の進捗及び第3期計画の策定について	
事務局	（資料に基づき説明） 第2期計画の進捗と令和4年の実績と5年度主な取組予定について説明。
山本委員	病院にかかっている人は多いが、そこで特定健診を受けていない人が多い。医者の中にも病院で検査しているのでフォローされているという考えがある。特定健診データと病院の臨床検査データが違うことをより伝えていく必要がある。 国はジェネリック医薬品の促進を勧めているが、ジェネリックの供給が不足している状況。
事務局	ジェネリックについては薬剤師からもないと聞いている。一方、国では80%を目標にしているため、本市の計画でも取り組んでいかないといけない。
坂本委員	重複投与の予防は「かかりつけ薬剤師」を持つことで推進されるので、「かかりつけ薬剤師」を薬剤師会としてアピールしたい。特定健診の促進については、カードの配布やポスターの掲示を行っていたが、令和5年度は、病院で検査を受けている人も、特定健診をやろう、と踏み込んだ案内ができれば。
大久保委員	マイナンバーカードとの関連付けで、特定健診データを医療機関で利用できるようになった。健診を行うとビッグデータが利用できるようになる、という宣伝があれば、医療機関側も協力していこうというモチベーションになると思う
事務局	多くの人々が特定健診を受けることによってデータが増えていき、様々な分析ができるというメリットの周知について話を進めている。

堀元委員	<p>歯周病や歯を失う人ほど医療費が高くなる。定期的に歯科受診する人は全国でも40%台のため歯周病対策も考慮してもらいたい。</p> <p>次期計画の中では、歯科レセプトと医科のレセプトを突合するという取組をどのように展開するか。</p>
事務局	<p>歯科レセプトの分析は今のところ実施していない。一方、本市では6年度から始期となる「保健医療プラン」と「歯科口腔保健推進計画」が歯科に係る計画となる。各計画の所管部署と情報共有し、どの部分を取り入れていくかを国保としても検討したいと考えている。</p> <p>歯周病の取組については、令和4年度から、糖尿病の治療をしているが歯科受診をしていない人に歯科の受診勧奨を実施している。次期計画においても、生活習慣病重症化予防に歯科の取組を入れていきたい。</p>
西村会長	<p>資料では、受診したかどうかといった分析にレセプトデータを使っていると思われるが、分析はこれで全部ではないと思われる。今後、歯科以外のレセプトデータを使った分析はどのようなものを予定しているか。</p>
事務局	<p>分析は令和4年度に業者に委託し、一旦終了している。データヘルス計画自体が生活習慣病を中心としている。生活習慣病の中でもどの疾患に患者が多くいるのか、経年的な推移等を含め分析している。また、国保保健事業評価・向上委員会にて他の分析結果についても報告を進めているところ。</p>
大久保委員	<p>あまり命に関わりのない病気に関し、一見、高価でもその人にとってはクオリティが向上するような薬の開発が進んでいる。健康になれば医療費が抑制されるという計画で推進してもいいのかという疑問がある。</p>
西村会長	<p>データヘルス計画は必ずしも医療費を減らすためだけのものではないが、効果について、きちんと説明する必要があると思う。</p> <p>表1「アウトカム評価及びアウトプット評価の結果」では、ほとんどが達成ないし改善したが、「悪化又はその他」もある。どのように見たらいいのか説明してほしい。また、アウトカムとアウトプットはどう違うのか。</p>
事務局	<p>アウトカムは、直接的ではなく様々な施策の結果、より上位の目標が改善したもので、アウトプットは、個別の事業で直接的にどれだけ効果があったかを示している。</p> <p>表1「悪化又はその他」は、例えば、生活習慣病重症化予防の項目で2つ「悪化又はその他」になっている。これは当初、個別指導対象者400人という目標を立てていたが、令和3年度は330人だった。結果的にそこまで参加者がいなかったため達成できなかった。ベースにある数字そのものがそもそも達成できないというようなものもある。</p>
西村会長	<p>数字で出すと「悪化又はその他」が3割もあると見える。この2年分のデータヘルス計画の結果について、たまたま「その他」があったのか、どのように見ればいいのか。この表から何が読み取れるのか。表に内訳が書いていないのでよく分からないところがある。</p>
事務局	<p>最終的に出す計画には、個別に表を付けて説明していく。その中で「悪化又はその他」の理由を評価項目ごとに説明しながら全体の評価をしていくことになると考えている。</p>
西村会長	<p>今後計画を作る際に「悪化又はその他」をどう評価するのか考えていけないといけない。ある程度やむを得なかったものもあるだろうし、改善しなければならぬものもあると思う。どう生かしていくか考えてもらいたい。ここまでやったことについて報告をもらったが、まだ全部ではないと思う。この評価も踏まえて計画を決めていくことになろうかと思う。</p>
議事3	その他の報告事項について
事務局	<p>次回の協議会は今年の11月下旬頃。日程等は改めて皆様に連絡する。</p>